



1月給食だより



都立港特別支援学校

校長 岡戸 良雄

栄養士 大野 有里

今月の給食目標は『食文化について考えよう』です。年末年始は日本のおいしい食文化が詰まった時期ですが、皆さんは冬休み中にどんな料理を食べましたか？楽しい冬休みに生活リズムが乱れてしまった人もいるかもしれませんが、よい1年を過ごせるよう、少しずつ身体の調子を整えていきましょう！

あけましておめでとうございます



冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

今年（とし）はうま年！



うまのように野菜を
たっぷり食べよう！



箸（はし）をうま（うま）く使いこなして
きれいに食べよう！



よく味わってうま（うま）味
を感じよう！



1/24～1/30は
「全国学校給食週間」です

支援物資による学校給食の再開

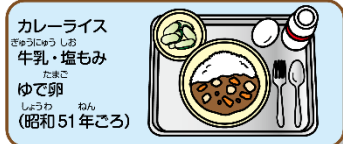
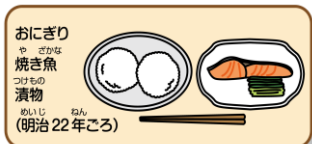
バラエティー豊かな献立内容に

学校給食の始まり

明治22（1889）年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正12（1923）年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなりました。

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21（1946）年12月24日にLARA（アジア救援公認団体）から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日から1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

昭和29（1954）年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯（ご飯）が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していききました。



おむすびの日

